

Equinix Interconnection Oriented Architecture™がもたらす Forrester Total Economic Impact™ (TEI)



「地理的な展開、パートナーとの接続性、導入済みクラウドサービスとの接続性、そして、国際的な成長基盤としての適性…。エクイニクスは、どの点においても我々のニーズをそのまま満たしています。」

3年間の財務効果のまとめ

これは、エクイニクスのプラットフォーム上で Interconnection Oriented Architecture™ (IOA™) を運用した際の、総合的な経済効果 (TEI: Total Economic Impact) のメリットとコストを定量化した調査結果です。インタビューおよびデータを元にした調査により、Forresterは、IOAは財務面および業績面で次のような導入効果をもたらすと結論付けました。



ROI (投資利益率)
300%



投資回収期間
4.2か月



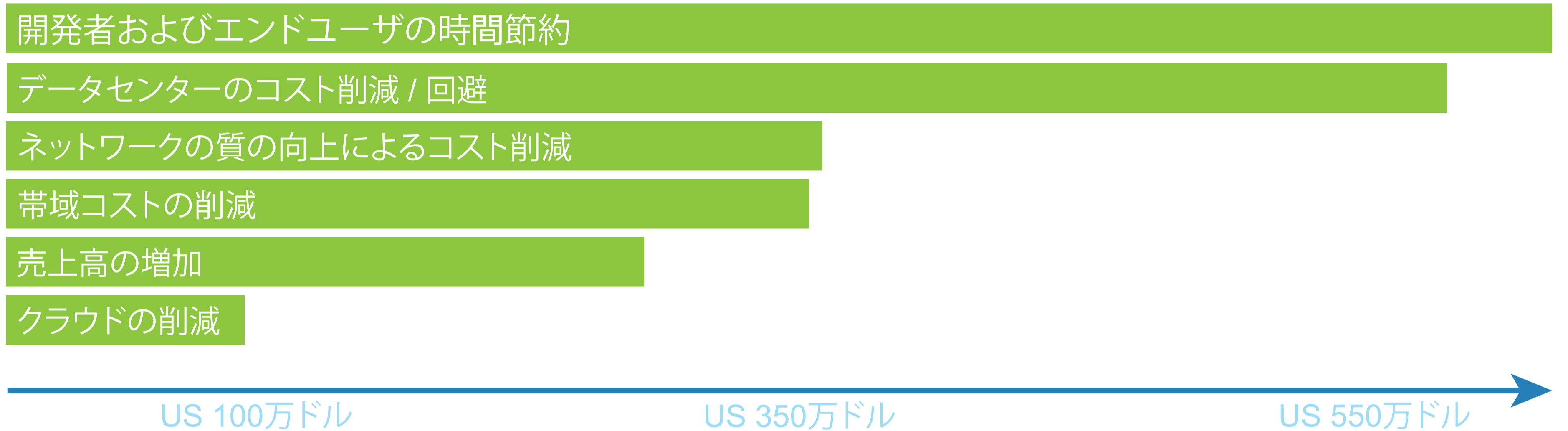
NPV (正味現在価値)
US 1,730万ドル



レイテンシーの平均改善率
▼ 42%

相互接続によるメリット

メリットの現在価値合計: **US 2,300万ドル** (3年間の分析)



数値でわかるIOA

利用例	ユーザ	拠点	クラウド	データ
課題	使い勝手が悪い	運用持続できない 急激な帯域幅コスト増	マルチクラウドへのアクセスが非効率かつセキュリティが不十分	顧客のインサイトを十分に得られない
ワークロード / アプリケーション	リアルタイム コラボレーション	トラフィック最適化	マルチクラウド	IoT & 分散アナリティクス
ビジネスに与える影響	従業員 1 人あたり帯域幅を 2.5 倍に増強 しつつ 運用コストを 25%削減	従業員 1 人あたりの 帯域幅運用コストを 45%削減	リアルタイム データ アナリティクス アプリの レイテンシーを 25%改善	クラウド接続コスト / 分析 アプリケーションの コストを 30%削減
	グローバルな共同作業 向けアプリケーションの レイテンシーを 38%改善	顧客向けアプリケーションの レイテンシーを 40%改善	1 アプリケーションあたり の運用コストを 50%削減	ハイブリッドクラウドの 導入により、 年間運用 コストを 800 万ドル削減

注意事項
この資料は次の事項に注意してご参照ください。
この資料は、調査報告書「エクイニクスのインターコネクションソリューションに関する Total Economic Impact、2015 年 8 月版」の要約です。全文は <http://www.equinix.com/re-sources/analyst-reports/interconnection-total-economic-impact-study/> にてご覧いただけます。この調査報告書は、エクイニクスからの依頼を受けて Forrester Consulting グループが提供したものです。Forrester は、他の組織が得る潜在的な投資利益については想定しておりません。その他の注意事項については、調査報告書の全文をお読みください。

TEI の概要
Total Economic Impact™ (TEI) は、企業におけるテクノロジーに関する意思決定プロセスを促進し、ベンダーが顧客に対して製品およびサービスの投資価値を伝える支援をするように、フォレストラー・リサーチ社によって開発された手法です。TEI 手法は、組織の経営幹部他の主要ビジネス利害関係者に向けて、IT イニシアチブの有形資産価値を実証、正当化および実現化する際に有益です。TEI 手法は、メリット、コスト、リスクおよび柔軟性の 4 つの投資価値評価要素で構成されます。(forrester.com/marketing/product/consult-ing/tei.html) * コストおよび便益の数値は、エクイニクスの既存顧客 4 社に対するインタビュー調査で得られたフィードバックの、総合的な結果を組み合わせて作成された、モデル企業における参考値です。